

とら こちら奈良市東部出張所です

4月 No.80



目次

- P.1 ご挨拶・東部出張所からのお知らせ
- P.2 協力隊活動報告・予定(寺尾)
- P.3 協力隊活動報告・予定(若井)
- P.4 ご案内

編集・発行(毎月1日発行)
奈良市 東部出張所(奈良市大柳生町4735)
TEL: 0742-93-0001/ FAX: 0742-93-0061
E-mail: toububr@city.nara.lg.jp

こんにちは。東部出張所の藤原卓二です。
新しい年度を迎えましたが、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

令和6年1月1日に石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、観測された最大震度は震度7を記録しました。地震による家屋倒壊や土砂災害、津波などにより、死者が200人を超えるなど、甚大な被害が発生しました。奈良市も被災地支援に取り組み、東部出張所からも1名、2月14~20日の7日間、職員派遣第9陣として石川県穴水町において仮設住宅申込、住宅応急修理申込、生活再建支援金受付等の窓口業務に従事しました。

この度の能登半島地震により、甚大な被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。皆さまの安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、出張所も4月1日付の人事異動により、新たな体制でも、引き続き正確で丁寧な窓口対応や地域の皆さまが笑顔で生き生きと暮らしていただける振興施策に、職員一丸となって取り組んでまいります。地域の皆さまにおかれましては、当出張所の今年度の運営に対しまして、ご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

なお、編集の都合上、新しい東部出張所の体制の紹介は5月号で行わせていただきます。

令和6年能登半島地震における奈良市の取り組みについて



東部出張所からのお知らせ

ドローン配送の実証実験の実施

医薬品の配送を行いました

令和6年2月26日から28日にかけて、処方薬配送及び災害時の医薬品配送に向けた薬局を起点としたドローン物流の実証実験を実施しました。

地域の課題について

東部地域(月ヶ瀬、都祁を除く)の調剤薬局は、ひだまり薬局田原店の1箇所のみで、処方薬を受け取るためには市街地もしくは田原地区まで行かなければなりません。今後、高齢化による免許返納が進み、処方薬を受け取りに行くことが困難になる方が増えることが想定されるため、自宅などで処方薬を受け取れる仕組みづくりが望まれます。

災害時の医薬品配送について

災害時において、道路等が寸断された場合に避難所への陸路での医薬品配送が困難になることが想定されるため、代替できる輸送経路の確立が望まれます。



実験の内容はこちらから



実施内容

□処方薬の空送[薬局→患者宅]

- ①薬局から患者宅へタブレットを空送
- ②タブレットを使用したオンライン服薬指導
- ③処方薬の空送

□医薬品等の避難所への空送[薬局→避難所(東部出張所)]

- ①薬局と避難所をオンライン通話でつなぎ、状況説明
- ②必要な医薬品等の空送
- ③オンライン通話で薬局が避難者の症状を確認
- ④薬局の指示のもと避難所配置員が避難者へ医薬品等を渡す

今後の展開

費用面などの課題もある中で、今後も実証実験を行いながら一日も早い社会実装に向けて様々な可能性を探っていき、住み続けられる地域づくりを目指します。

自分ごと化会議について

3つの提案が出されました

昨年度、東部地域にお住いの皆さまに参加のご協力をいただきながら、地域が抱えている課題や、持続可能な地域社会の実現について議論をする「自分ごと化会議」を行いました。

令和5年8月から11月まで、全4回にわたり開催された会議には30名の参加があり、「共助・地域コミュニティを強化する手法」をテーマに議論を行いました。議論された内容は「提案書」として取りまとめられ、奈良市へ提出されました。

これらの提案を受け、今後東部出張所では住み続けられる地域づくりに向け、地域コミュニティの強化につながる取り組みを進めていきます。

□テーマ

共助・地域コミュニティを強化する方法

会議のテーマについて右記の3つの提案が出されました。

有害鳥獣対策セミナーを開催しました

3月13日(水)に東里地域ふれあい会館にて、有害鳥獣対策セミナーを開催しました。当日は約25名の皆さまにご参加いただきました。有害鳥獣被害の対策に取り組まれている講師をお招きし、鹿や猪などの野生動物の習性、侵入を防ぐための対策、中小型獣類への対策等のお話をいただきました。

野生動物がどのように侵入してくるのか、侵入を防ぐためには何が効果的なのかなど、実際に撮影された動画を交えて具体的にお話され、今後の対策に活かしていただける内容となりました。ご活用いただける対策については、5月号の紙面でご紹介いたします。

提案 誰かが動くのを待つのではなく

① ワクワクする将来が見える活動をつくっていこう

人口は減り続けている中で、活気のある地域にしていけるためには、誰かが動くのを待っているだけでは前に進まない。自分たちがワクワクする活動をつくっていき、誰かの「やりたい」という思い(ビジョン)が他の人にも伝播し、活動の輪が広がっていくことが重要と言える。強制参加ではなく、自由に積極的に参加し、活動をつくる活動をつくっていこう。

提案 コミュニティのあり方について地域単位で

② 「自分ごと化」し、議論できる場をつくらう

東部地域は、地域ごとに特色がある。コミュニティのあり方についてもそれぞれに違いがあるため、より身近で具体的な単位で今後のコミュニティを考える場が必要である。地域単位の「ミニ版自分ごと化会議」を開催し、地域を自分ごととして考える輪を広げていこう。また地域ごとの特色や行事を可視化し、共有するための仕掛けづくりも進めていこう。

提案 既存コミュニティを今までのあり方にとらわれず

③ 本当に必要な機能をゼロベースで見つめ直そう

消防団の議論に象徴されるように、既存コミュニティは、どの機能が必要なのか、今の運営体制のままで良いのかなどについて、ゼロベースで見直す必要がある時期にあると言える。地域単位の「ミニ版自分ごと化会議」も活用しながら、具体的な状況を把握し、既存コミュニティの見直しを進めていこう。



第16回柳生さくら祭開催

柳生さくら祭は、柳生地区7町における手作りの「春の地区文化祭」です。

第16回目を迎える今年の「柳生さくら祭」は、地域の魅力をさらに広げるために、大和高原に伝わる伝統芸能を数多く発表するとともに、恒例の柳生新陰流を中心とした古武術の披露や、民謡・ダンスなどに加え、田原地区伝統芸能保存会の方々による謡いで、千本杵餅つきを実施します。その他、子どもからお年寄りまで楽しめるステージを企画しています。

満開の桜の下、地元のグルメを楽しめる「きずな市」でおなかを満たしながら「柳生さくら祭」をお楽しみください。

日時 4/6(土)10:00~16:00 4/7(日)10:00~15:30

場所 旧柳生藩 陣屋跡(柳生町339)

お問合せ 柳生観光協会(Tel:0742-94-0002)

新たな地域おこし協力隊が着任します

東部出張所では現在2名の地域おこし協力隊が活動していますが、4月1日より新たに1名が着任します。詳しくは、5月号にてご挨拶いたします。

会員制買物サービス

「おたがいマーケット」がはじまりました

3月号でもお知らせしました、日本郵便による会員制買物サービス(おたがいマーケット)が3/27(水)の配送からはじまりました。イオンネットスーパーの商品を、月ごとの定額制で、東部地域内の拠点で受け取ることができるサービスです。現時点での受取先は、月ヶ瀬ワーケーションルームONOONOと須川郵便局ですが、今後、順次増える予定です。サービスの内容やお申込み方法など、ご不明な点などございましたら、近隣の郵便局へお問合せ下さい。

※昨年度、実証実験で実施していた「共助型買物サービス」の実装版です。

東部地域の観光情報はこちら→
奈良市東部の観光・案内サイト「さどやま」

